

# 第51期 年次報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

**MOBILE SPACE** by 三協フロンテア



## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第51期(2019年4月1日～2020年3月31日)報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔み申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱などの世界経済減速の影響はあるものの、IT関連等の設備投資の増加や、首都圏を中心とした再開発工事による建設需要等により、比較的堅調に推移してまいりました。

このような情勢のなか、当社グループは、建設現場の仮設事務所やイベント施設等を提供するレンタル事業や、主として一般事業法人向けに店舗や事務所の販売を行う本設販売事業など、主力事業が全て前期売上高を上回るなど好調に推移し、売上高につきましては7期連続の増収、利益につきましては6期連続の増益となりました。

しかしながら、年度終盤に発生した新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と、それに伴って実施されている外出制限や国境封鎖により、人的な交流は断絶され、グローバルサプライチェーンも寸断されるなど、経済は大きく後退いたしました。日本国内におきましても、緊急事態宣言の発出により経済活動は大幅に縮小され、東京オリンピックも開催延期になるなど、甚大な影響が出ております。

各種対策の実施により感染拡大は抑制されてまいりましたが、テレワークの推進やソーシャルディスタンスの確保など、新たな生活様式に適應することが求められております。このような社会変化に伴い、事務所や店舗を拡張する、あるいは業容変更等により新たなスペースが必要になるなど、空間ニーズも変化しております。必要なとき、必要なだけ、必要な空間を提供することができる当社のモバイルスペースは、お客様の様々な空間ニーズに適應していくことで、新しい生活様式に対応したお客様の事業活動に貢献してまいります。

これからも、2018年4月より掲げている新しい10年ビジョン「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する」に沿い、お客様の夢や想いを実現することで、社会から必要とされ、そして社会に貢献する会社を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長

長喜貴嗣

## 基本理念

### 目的(存在理由)

#### 社会への貢献

わたしたちは  
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、  
よって社会に貢献することを目的とします。

### 基本的価値観(不変の主義)

- 開拓の精神** わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、未開の地(新しい分野)に挑戦することを誇りとします。
- 不断の努力** わたしたちは、弛みない努力によって、困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。
- 誠実な意志** わたしたちは、わたしたちを支える人々\*に対し、揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

\*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー(お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など)を指します。

## 新10年ビジョン進捗

### 「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する。」

現在、全国に200カ所を超える展示場を設置しております。ホームページなどで製品をご覧になったお客様が実物を体感できるよう、内装や家具備品も備えたモデルを設置した本建築中心の展示場を茨城県つくば市に新設いたしました。今後、このような展示場を全国に展開するとともに、インターネットやIT技術を活用したデジタルマーケティングと組み合わせ、提案力のある営業体制構築を進めてまいります。

また製品につきましても、千葉県柏市にある弊社施設「MSキャンパス」内に、「MSホール」で挑戦した「モバイルスペースでの大空間の実現」の発展形として、大空間内に客席を設けた講堂を配した「MSカフェ」を新設するなど、研究開発を進めております。様々な用途提案につながる製品開発、快適性や機能性を向上させる製品改良を行ってまいります。

海外展開については、ミャンマーに新たに設立した子会社で生産工場が完成いたしました。今後の東南アジア市場での需要拡大に対応するグローバルな生産拠点とすべく、本格稼働に向けてグループ一体となって取り組んでおります。



つくば総合展示場



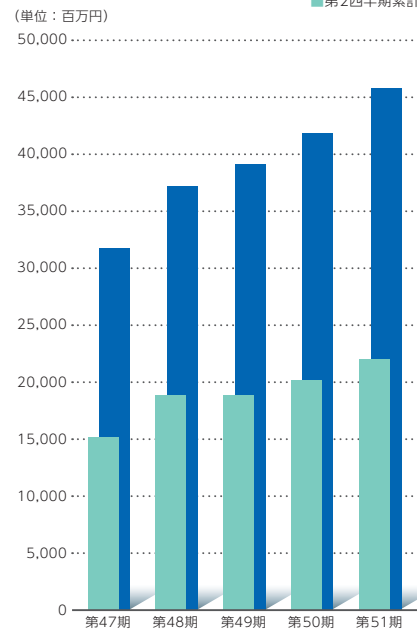
レンタルスペース つくば店

## 業績ハイライト(連結)

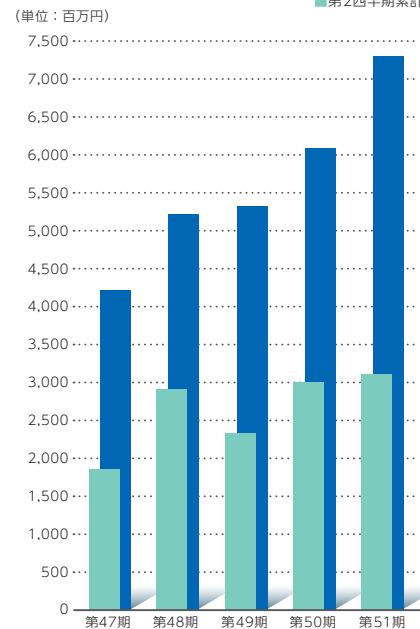
区分	期別	第47期 (2016年3月期)	第48期 (2017年3月期)	第49期 (2018年3月期)	第50期 (2019年3月期)	第51期 (2020年3月期)
売上高(百万円)		31,803	37,194	39,065	41,856	45,754
経常利益(百万円)		4,205	5,208	5,318	6,090	7,303
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		2,567	3,087	3,361	3,838	4,659
1株当たり当期純利益(円)		230.97	277.78	302.46	345.39	419.24
総資産(百万円)		52,958	55,537	57,629	60,302	63,397
純資産(百万円)		24,862	27,121	29,633	32,334	35,768

※当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2016年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。

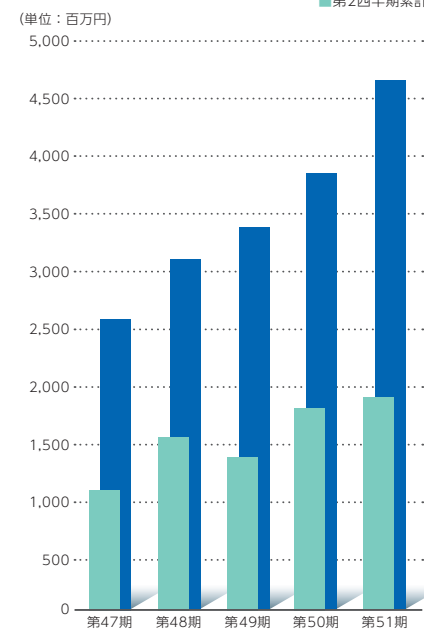
### 売上高の推移



### 経常利益の推移



### 親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

## 当期の業績について

当連結会計年度の連結売上高は45,754百万円(前期比9.3%増)、営業利益7,285百万円(前期比20.3%増)、経常利益7,303百万円(前期比19.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,659百万円(前期比21.4%増)となり、7期連続の増収、6期連続の増益となりました。

ユニットハウスのレンタルについては、首都圏を中心に継続して行われている再開発工事などによる需要を受け、出荷棟数・稼働棟数ともに高い水準で推移し、連結売上高は前期比9.9%増となりました。東京オリンピックが延期されたことによる影響については限定的との見通しもありますが、今後の動向を注視してまいります。

ユニットハウスの販売については、主に一般事業法人向けに店舗や、事務所の販売を行う本設販売が好調に推移いたしました。提供できる建築物のバリエーションが広がり、動物病院や工場の福利厚生棟を受注するなど、様々な用途で当社のモバイルスペースが活用されており、連結売上高は前期比9.0%増となりました。

トラックルームのレンタルについては、設備やワークスペースを設けた店舗を実験的に開設する一方で、継続してWEB広告の強化等による収益力の向上を図るなど、事業拡大に取り組んでおります。新規出店も進めており、連結売上高は前期比8.8%増となりました。

旺盛なレンタル需要に対応するため、レンタル資産への投資が前期と比べ大きく増加するなど、設備投資の総額は11,489百万円となりました。総資産は前期末に対し3,094百万円増加し63,397百万円となりましたが、自己資本比率は56.4%となっており、財政状態も引き続き安定して推移しております。

今後とも、ユニットハウスの特長を活かしたニーズの開拓と、快適性や機能性を向上させる新規製品開発、製品改良を行うとともに、事業開発に取り組み、業績向上に努めてまいります。



ER動物救護センター



管理棟



道の駅カフェ



U-SPACE流山おおたかの森2号店

## Topic 1 つくば総合展示場オープン

2020年3月、茨城県つくば市に「つくば総合展示場」がオープンしました。1階部分が車のガレージになっており、2階はダンス教室や会議室として利用できる「ガレージ棟」、前面ガラス張りでおしゃれな雰囲気「カフェ棟」など、従来の単体ハウス中心の展示場とは全く異なる、本建築製品中心の展示場となっております。

つくば総合展示場のコンセプトは、「体感型の展示場」です。実際に様々な用途で使用することを想定し、内装の作り込み・家具備品の設置・デッキユニットや植栽など外構の設置を行っており、見学をしながらお客様のイメージ・夢



が浮き彫りになっていくような展示場を目指しております。

また、ただ見学するだけでなくご購入をご検討されているお客様には無料でスペース貸出を実施し、ご購入前にモバイルスペースをご体験頂くことができます。更に、ダンス教室や料理教室、3密対策のコワーキングスペースなど1名～30名様まで様々な用途でレンタルスペースの貸出サービスを実施しております。

今後はつくば総合展示場のような新しい展示場を全国展開し、三協フロンテアの展示場のイメージを大きく変化させていきます。

## Topic 2 MSカフェ新設

2020年3月、柏たなか駅近くにある当社所有の約2,000坪の敷地内に、オフィス「MSカフェ」を新たに完成させました。

建物規模は、延床面積約150坪の2階建て、「MS1」をベースとした様々なサイズのモバイルスペースの組合せで構成されています。

2018年竣工、同敷地に建つ「MSホール」で挑戦した「MSでの大空間の実現」の発展形として、MSカフェでは大空間内に客席を設けた講堂空間にも挑戦致しました。

MSカフェのコンセプトは「学+食」。

「ライブラリー」、「食堂(兼オフィス)」、「大階段」、「会議室」、「デッキ」といった場所や、これらの場をつなぐ余白に、知的生産性を最大化させるためのアイデアを盛り込んだ結果、新しい働き方の1つであるABW(「時間」と「場所」を自由に選択できる働き方)の設計が自然と形になりました。

例えば、BGMが流れるオープンなカフェのような空間でラフなコミュニケーションを取りながら仕事をしたり、大階段で対話しながらのプレゼンテーションをしたり、個室で集中したり、アイデアをライブラリーで探したり、時には気分転換にオープンエアなデッキで仕事をしたりと多様なお客様のニーズに応じてまいります。

自社施設としてだけでなく、用途提案の研究開発を目的とした施設を構築し、世の中へ発信していきたいと考えております。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第51期末 (2020年3月31日)	第50期末 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>16,927</b>	<b>15,861</b>
現金及び預金	3,075	4,132
受取手形	860	530
電子記録債権	845	821
営業未収入金	5,415	4,524
売掛金	2,598	2,678
棚卸資産	3,597	2,825
その他	595	415
貸倒引当金	△61	△66
<b>固定資産</b>	<b>46,470</b>	<b>44,440</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>43,233</b>	<b>41,682</b>
レンタル資産	24,327	23,345
建物及び構築物	6,818	5,992
土地	9,643	9,585
その他	2,443	2,759
<b>無形固定資産</b>	<b>299</b>	<b>278</b>
投資その他の資産	2,937	2,478
<b>資産合計</b>	<b>63,397</b>	<b>60,302</b>

(単位:百万円)

	第51期末 (2020年3月31日)	第50期末 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>20,746</b>	<b>18,659</b>
支払手形	419	396
電子記録債務	6,722	7,005
買掛金	1,501	1,347
短期借入金	4,910	2,993
未払費用	2,426	2,423
未払法人税等	1,559	1,362
賞与引当金	519	500
その他	2,686	2,631
<b>固定負債</b>	<b>6,882</b>	<b>9,308</b>
長期借入金	4,218	6,907
役員退職慰労引当金	120	114
退職給付に係る負債	1,192	1,122
その他	1,351	1,164
<b>負債合計</b>	<b>27,628</b>	<b>27,967</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>35,758</b>	<b>32,322</b>
資本金	1,545	1,545
資本剰余金	2,776	2,776
利益剰余金	31,751	28,315
自己株式	△315	△314
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>9</b>	<b>12</b>
その他有価証券評価差額金	△1	3
為替換算調整勘定	28	41
退職給付に係る調整累計額	△17	△32
<b>純資産合計</b>	<b>35,768</b>	<b>32,334</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>63,397</b>	<b>60,302</b>

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第51期 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	第50期 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
売上高	45,754	41,856
売上原価	26,438	24,441
売上総利益	19,316	17,415
販売費及び一般管理費	12,030	11,358
<b>営業利益</b>	<b>7,285</b>	<b>6,056</b>
営業外収益	86	107
営業外費用	68	73
<b>経常利益</b>	<b>7,303</b>	<b>6,090</b>
特別利益	—	0
特別損失	100	95
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>7,202</b>	<b>5,994</b>
法人税等	2,543	2,156
<b>当期純利益</b>	<b>4,659</b>	<b>3,838</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	4,659	3,838

## 連結株主資本等変動計算書(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	1,545	2,776	28,315	△314	32,322	3	41	△32	12	32,334
当期変動額										
剰余金の配当			△555		△555					△555
剰余金の配当(中間配当)			△666		△666					△666
親会社株主に帰属する当期純利益			4,659		4,659					4,659
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△5	△12	14	△2	△2
当期変動額合計	—	—	3,436	△0	3,436	△5	△12	14	△2	3,433
当期末残高	1,545	2,776	31,751	△315	35,758	△1	28	△17	9	35,768

## 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	第51期 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	第50期 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
当期純利益	4,659	3,838
その他の包括利益	△2	△25
当期包括利益	4,656	3,812

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第51期 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	第50期 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,805	4,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,891	△2,448
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,965	△2,313
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	0
現金及び現金同等物の増減額	△1,056	△562
現金及び現金同等物の期首残高	3,992	4,554
現金及び現金同等物の期末残高	2,935	3,992

## 企業の概要 (2020年4月1日現在)

商号	三協フロンテア株式会社
本社所在地	〒277-8539 千葉県柏市新十余二5番地
資本金	15億4,545万円
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣
設立	1969年12月5日
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. レンタルスペースの運営 4. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル 5. 植物工場の製造・販売・レンタル
役員	代表取締役社長 長妻 貴嗣 専務取締役 端山 秀人 取締役 三戸 茂夫 取締役 小嶋 俊一 取締役 藤田 剛 取締役 安齋 光晴 社外取締役 野倉 学 常勤監査役 村井 康之 社外監査役 山崎 直人 社外監査役 石黒 博 社外監査役 寺嶋 哲生

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-1)第18154号  
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1704-1483号

## 株式の状況 (2020年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,678,400株 (うち自己株式565,591株)
1単元の株式の数	100株
株主数	1,704名 (2019年9月末比24名増)

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	5,616	50.54
長妻 貴嗣	1,657	14.91
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	459	4.14
長妻 和男	324	2.92
資産管理サービス信託銀行(株)	174	1.57
三協フロンテア従業員持株会	156	1.41
三菱UFJ信託銀行(株)	100	0.90
(株)千葉銀行	97	0.88
長妻 幸枝	95	0.86
日本生命保険相互会社	81	0.73

(注) 1.当社は自己株式を565,591株保有していますが、上記大株主からは除外しています。  
2.持株比率は自己株式を控除して計算しています。

## 株主メモ

事業年度  
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会  
毎年6月

期末配当金受領株主確定日  
3月31日

中間配当金受領株主確定日  
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法  
電子公告 (URL <http://www.sankyofrontier.com/>)  
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所  
東京証券取引所JASDAQスタンダード

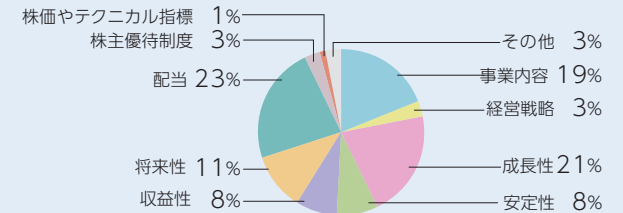
### (ご注意)

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

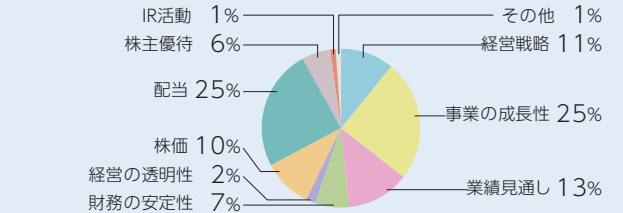
## アンケート結果のご報告

「第51期 中間報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。201名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。  
株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしていまいります。

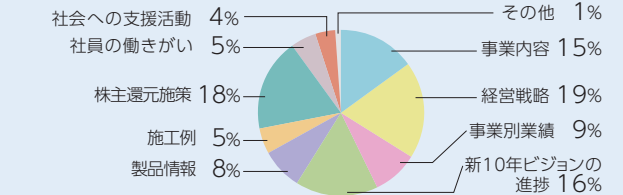
### Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。(複数回答)



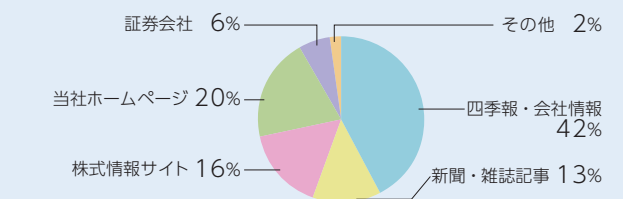
### Q2 当社の株式を長期保有する場合は何を重視されるかお聞かせください。(複数回答)



### Q3 今後、どのような情報提供を望まれるかお聞かせください。(複数回答)



### Q4 当社に関する情報をどこから入手されていますか。



## 『子会社 三協フロンティア・テクノロジーズ・ミャンマーの紹介』

2018年12月にミャンマー最大の都市ヤンゴン中心部から南東20kmに位置するティラワ経済特区(SEZ)に、子会社 三協フロンティア・テクノロジーズ・ミャンマー(Sankyō Frontier Technologies Myanmar Company Limited)を設立いたしました。

ティラワ経済特別区は日本政府とミャンマー政府による官民共同プロジェクトです。総開発面積約2,400ヘクタールで、浄水・配水、電気、通信設備などインフラをすべて日系企業が整備しており、大手自動車メーカーが進出するなど注目を集めています。

三協フロンティア・テクノロジーズ・ミャンマーは敷地面積18,132㎡(5,484坪)で、生産工場と物流センターを併設しています。2019年11月には1,267㎡の工場棟が完成、生産設備を導入し、本格的な稼働に向け準備をすすめております。今後はモバイルスペースや部材を製作し、ミャンマー国内だけでなく東南アジア市場へ向けて供給する、グローバルな拠点とすべく取り組んでまいります。



工場全体



事務所外観



工場棟外観



工場棟内観



### 当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>